

◆授業のポイント◆

- ・ 思考力・判断力・表現力等をはぐくむ学習活動の工夫

社会科学習指導案（地理的分野）

学 級 2年3組（男子18名 女子17名 計35名）
 日 時 2年3組教室（2年棟3階）
 授業者 教 諭 山 下 正 樹

1 単元 世界の国を調べよう ～アメリカ合衆国～（全4時間）

2 題材 「産業からみたアメリカ合衆国②」

3 本時の実際（3／4）

(1) 目 標

- ① アメリカ合衆国の主な工業地域の分布から、豊富な資源や大消費地を背景に発展した工業や、高い技術力で近年急速に発展している工業の特色を理解できる。
- ② 多国籍企業など、世界を代表する巨大な企業の活動から、アメリカ合衆国が世界を代表する工業国であることを、既習事項をもとに根拠を明確に論述し、説明することができる。

(2) 展 開

| 過程 | 学 習 活 動 | 時間 形態 | ○指導上の留意点 ◎評価 ※授業のポイントについて |
|------------|---|-------------------------|--|
| 導 入 | 1 身近にあるアメリカ企業の製品を探し、写真等を提示する。 | 一斉 | ○ 実物や写真をもとに、アメリカ合衆国の工業に関するイメージを持たせる。 ◎ 本時の学習への関心・意欲が高まったか。 ○ 本時の学習課題を全員に確認させる。 |
| | 2 学習課題を確認する。 (学習課題) アメリカ合衆国の工業にはどのような特色があるのだろうか。 | 5分 | |
| 展 開 | 3 工業製品の写真から、アメリカ合衆国の工業地域と工業分布について確認する。 (基礎的・基本的事項) シリコンバレー、サンベルト 多国籍企業 | 個 15分 | ○ 工業製品の写真をもとに、工業の分布図を作成し、まとめ、説明し、確認させる。 ※ 基礎的・基本的事項の定着 (習得の場面) |
| | 4 資源の産出量、工業製品の生産量、多国籍企業の数など、資料やグラフから工業について調べ、グループで発表する | グループ 15分 | ○ アメリカ合衆国や他国の工業に関する様々な資料を提示し、世界有数の工業国であることをつかませる。 ○ グループでの役割を決めておく。 ◎ 資料から工業の特色を読み取ることができたか。 |
| | 5 アメリカ合衆国の工業にはどのような特色があるか、自分の考えをまとめ、発表する。 | 個 ↓ 一斉 13分 | ○ 既習事項をもとに、学習課題に対する答えを明確にし、発表させる。 ◎ 根拠を明確に論述し、説明することができたか。 ※ 思考力・判断力・表現力等をはぐくむ学習活動の工夫 (活用の場面) |
| 終 末 | 6 本時の自己評価・重要事項の確認を行う。 | 個 一斉 2分 | ○ 本時の自己評価をさせ、重要事項の確認や授業内容の取組を振り返らせる。 ◎ 授業に意欲的に取り組み、学習内容を理解することができたか。 |

(3) 評 価

アメリカ合衆国の工業にはどのような特色があるか、これまでの学習事項や資料をもとに考察し、根拠を明確に論述し、説明することができたか。